

平成 20 年度国際インターンシップ交流会について

日 時： 平成 20 年 7 月 19 日（土） 11:00～13:00

場 所： 香川大学工学部 1 号館 11 階ラウンジ

- 目 的： ① 国際インターンシップ実施にあたりご協力いただいている企業，ホームステイをお受けいただいているご家庭，国際交流協会・団体への慰労と交流
② インターンシップで来日している外国人学生の歓迎会及び国際インターンシップ派遣学生の壮行会
③ 協定校訪問事業（サボア大学）の紹介

参加者： インターンシップ先企業，ホストファミリー，国際関係団体，工学部後援会，インターンシップ受入中の外国人学生（3 名），インターンシップ派遣予定学生（4 名），サボア大学訪問予定学生（17 名），教職員，過去のインターンシップ派遣学生等 約 70 名
（平成 19 年度参加者：50 名）

次 第： 開会
工学部長挨拶
国際インターンシップ概要説明
国際インターンシップ受入学生紹介
工学部後援会援助金贈呈（国際インターンシップ派遣学生）
歓談
閉会

国際インターンシップについて

【概要】

香川大学工学部は、設立理念の一つに「国際的人材の育成」を掲げているが、それを実現するための具体策の一つとして、国際インターンシップを実施している。平成12年度から学生の派遣・受入れを行っており、今年度は9年目にあたる。国際インターンシップの継続的な実施により、海外のインターンシップ協定校(特にフランスのサボア大学とドイツのボン＝ライプ＝ズィーク大学)との交流を続け、結びつきを強めている。

また、国際インターンシップは、企業等の協力が不可欠であり、国際的であると同時に、地域との連携を深める機会も兼ね備えており、様々な意味合いをもったプログラムである。学生は企業だけでなく、ホームステイを通じて、日本の文化や習慣を体験することができ、ご家庭に暖かく受け入れていただいております、大変好評である。

実務的なインターンシップは近年非常に推進されており、海外でのインターンシップも特に工学系の学部を中心に全国的に推進されている。香川大学工学部では先取りして行われており、授業の単位として認められる。協定校と相互に長期に行う方式は全国でも非常に稀であり、高く評価されている。

平成19年度までに、30名の工学部及び工学研究科の学生が国際インターンシップに参加している。また、協定校からもほぼ同数の31名の学生を受入れている。

平成20年度は、協定校のフランスのサボア大学サボア理工科学院からの3名を受入れており、3名をフランスに1名をドイツに派遣予定である。